

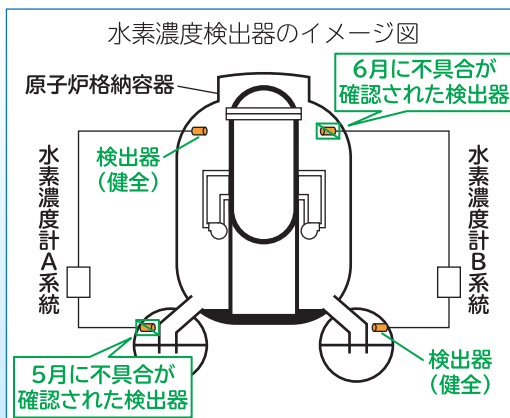
9/1 公表 《2号機の水素濃度検出器交換と発電再開について》

2号機は、2024年12月に営業運転を再開以降、安定運転を継続していましたが、原子炉格納容器内に設置している水素濃度検出器※のうち、2台に不具合が確認されたことを受け、今後の安定運転に万全を期す観点から健全な2台を含む全4台の交換作業を実施するため、本年8月21日に原子炉を計画的に停止しました。その後、交換作業が完了したことから、8月30日に原子炉を再起動し、9月1日に発電を再開しました。

今後、取り外した水素濃度検出器の不具合の原因を調査するとともに、安全確保を最優先に、安定運転に努めてまいります。

8月21日	発電を停止し、原子炉を冷温停止
8月28日	水素濃度検出器(全4台)の交換を完了
8月30日	原子炉を再起動
9月1日	発電を再開

※水素濃度検出器とは、重大事故等発生時において、原子炉内の水位が低下し、炉心が損傷した場合、原子炉から格納容器内に放出される水素の濃度を監視する計器です。



9月現在 《1号機、3号機の状況について》

●1号機(廃止措置中)

2018年12月に運転を終了し、2020年7月より、廃止措置に係る作業に着手しています。現在、解体工事準備期間の作業として、1号機の使用済燃料プールに貯蔵している使用済燃料を、3号機の使用済燃料プールへ搬出する作業を進めています。



使用済燃料の輸送容器を運搬する様子

●3号機(定期事業者検査中)

2011年9月から定期事業者検査を実施しており、現在、設備の点検や安全対策に関する工事等を進めています。また、新規規制基準適合性審査申請に向けた準備の一環として、地質調査を実施しており、調査期間は本年1月から2年程度を予定しています。

8/28
認可

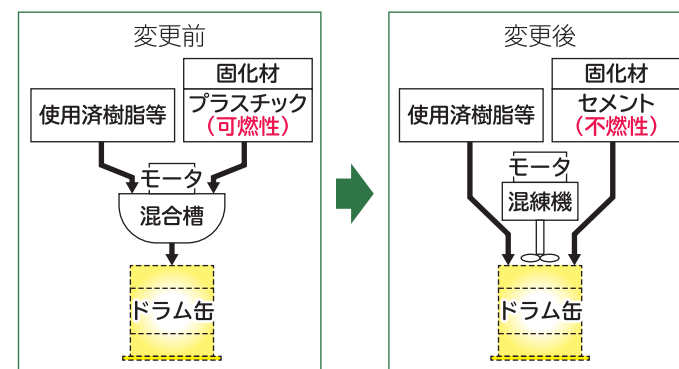
《2号機の固化材変更等および所内常設直流電源設備(3系統目)の設置に係る「設計及び工事計画」の認可をいただきました》

2号機では、さらなる安全性・信頼性の向上を目的として、固体廃棄物処理系固化装置の固化材を変更するとともに、所内常設直流電源設備(3系統目)を設置することとしています。本年8月28日に、原子力規制委員会から、これら設備の詳細設計となる「設計及び工事計画」の認可をいただきました。

引き続き、さらなる安全レベルの向上に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

固体廃棄物処理系固化装置

- 放射性廃棄物である使用済樹脂等を、固化材によって、ドラム缶内に固形化する装置です。
- 今回、火災防護対策のため、固化材を可燃性であるプラスチックから、不燃性であるセメントに変更いたします。



所内常設直流電源設備(3系統目)

- 外部電源や非常用ディーゼル発電機など、複数の交流電源が全て喪失した際に、重大事故等への対応に必要な設備に直流の電気を供給するための設備です。
- 現在は、2系統の直流電源設備が設置されていますが、さらなる信頼性向上を目的として、新たに原子炉建屋内に3系統目の直流電源設備を設置します。
- この3系統目の設置は、新規規制基準により設置することが求められています。

直流電源設備

1系統目	蓄電池(所内常設、設置済み)
2系統目	電源車(可搬型、設置済み)
3系統目	蓄電池(所内常設、追加設置)



※写真はイメージです

所内常設直流電源設備(蓄電池)

《「第24回東北電力図画コンクール」一般投票のお知らせ 一次審査を通過した200点の作品からお気に入りの作品に投票をお願いします》

女川原子力PRセンターでは、毎年、小学生以下の皆さまを対象とした図画コンクールを開催しています。今回のコンクールに応募いただいた3,452点の作品の中から、一次審査を通過した200点の作品を女川原子力PRセンターに展示します。「想像の海の生きものたち」をテーマに、子どもたちが描いた想像力溢れる個性豊かな作品をご覧ください、ぜひお気に入りの作品(最大3作品)に投票をお願いします。なお、一次審査を通過された皆さまには、10月上旬までに各学校・保育園などを通じてお知らせします。入賞作品は投票結果および最終審査を経て、12月頃に決定する予定です。たくさんの皆さまのご来場をお待ちしております。



過去の入賞作品の展示の様子



昨年度の最優秀賞作品「マンボウロケット」

作品の
展示期間

9月27日(土)～10月26日(日) [休館日 10月20日(月)を除く]

お問い合わせ先

女川原子力PRセンター (〒986-2221 女川町塚浜字前田123)

開館時間 9:30～16:30

休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)

電話番号 0225-53-3410

年末年始、その他臨時休館あり

《女川原子力PRセンターについてご紹介します》

女川原子力PRセンターは、原子力発電のしくみや女川原子力発電所の安全性向上に向けた取り組みをはじめ、放射線やエネルギーについて、楽しく学べる施設です。

【VR発電所見学ツアー】

女川原子力発電所の各施設や安全対策設備などをVR(仮想現実)映像でご視聴いただけます。専用ゴーグル※を装着すると360度の視界が広がり、臨場感たっぷりに発電所見学をお楽しみいただけます。



※専用ゴーグルでの視聴は目に大きな負担がかかる場合がありますので、12歳未満のお子様へは推奨しておりません。なお、都合によりご視聴いただけない場合があります。

【原子力発電のしくみなどを展示で紹介】

原子力発電のしくみや、さまざまな発電方法をバランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」などについて、映像や模型で分かりやすく紹介しています。



発電方法やエネルギーミックスを映像やパネルで紹介



2分の1サイズの原子炉模型

こちらの二次元コードを読み取ると、当社公式YouTubeチャンネルにつながり、館内の様子を360度動画でご覧いただけます。(動画を再生するには、YouTube公式アプリが必要となります。)



また、女川原子力PRセンターでは、様々なイベントを実施しています。

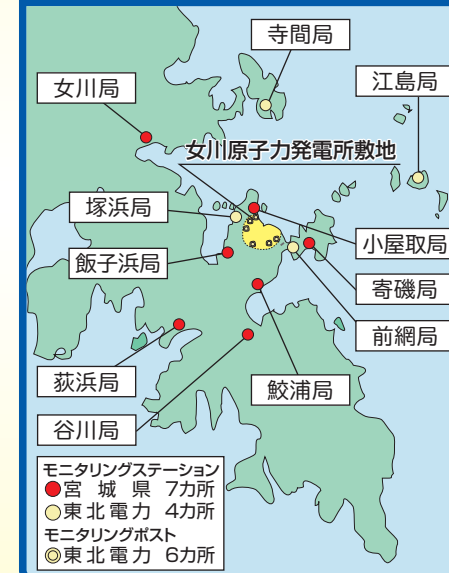
年間の主なイベントスケジュールは下図のとおりです。ぜひ、お越しください。



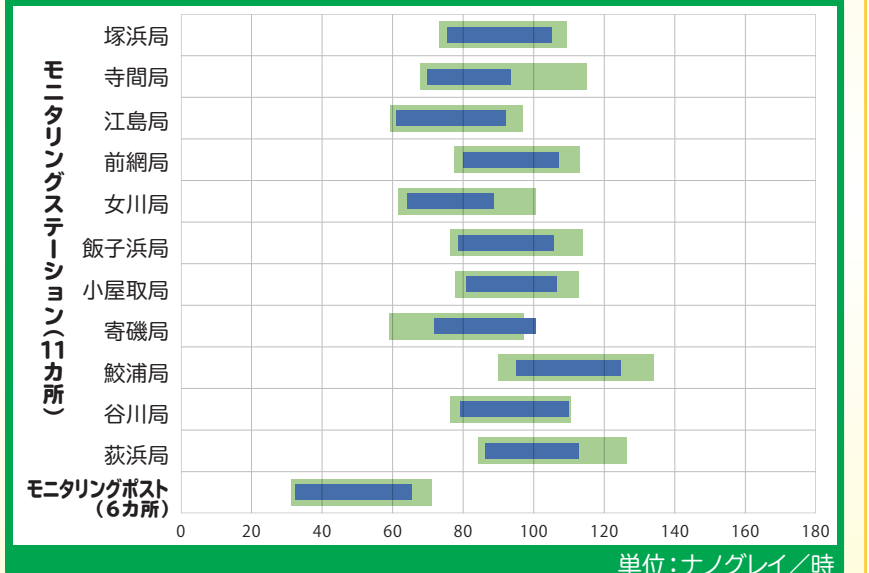
《発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングステーション※¹やモニタリングポストで測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。2025年8月の測定結果は以下のとおりで、発電所周辺の放射線量は安定しており、発電所の運転による有意な変化はなく、環境への影響はありません。

モニタリングステーションとモニタリングポストの設置地点



2025年8月のモニタリングステーションとモニタリングポストの測定結果(速報値)※²



※¹ モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※² モニタリングポストの測定値は、検出器の種類が異なるため、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないことから、モニタリングステーションの測定値より20～40ナノグレイ/時程度低い測定値となっています。

グラフの見方

